

習習翼 に希望を のせて

2022年
特別展

ガレ、ドーム、ラリック
ガラス工芸にみるジャポニズムの鳥

2022 2023
3.19 SAT - 3.14 TUE

開館時間：9時～18時(4月～9月) 9時～17時(10月～3月)
休館日：年中無休、9月30日(金)は一部展示替えのため休館
入館料：大人1,000円、中学生500円、小学生以下無料
※閉館30分前までにご入館ください。※団体(8名以上)上記料金より100円引

[主催] 公益財団法人 北澤美術館
[後援] 日本ガラス工芸学会、諏訪地方市町村教育委員会連絡協議会
一般社団法人諏訪観光協会、諏訪湖温泉旅館組合、信濃毎日新聞社
長野日報社、市民新聞グループ(7紙)、NHK長野放送局、SBC信越放送
NBS長野放送、TSBテレビ信州、abn長野朝日放送、LCV、国際ガラス年日本実行委員会
[協賛] 株式会社キッツ *株式会社キッツは、社会貢献活動の一環として公益財団法人北澤美術館を支援しています。

 **北澤美術館**
KITAZAWA MUSEUM OF ART

〒392-0027 長野県諏訪市湖岸通り1-13-28
TEL.0266(58)6000
1-13-28 Kogandori, Suwa City, Nagano Prefecture 392-0027, Japan
<https://kitazawa-museum.or.jp>



習翼

2022年
特別展

ガレ、ドーム、ラリック
ガラス工芸にみる
ジャポニズムの鳥

希望を のせて



1. ドーム兄弟《ツバメ文円筒花瓶》1897年頃
2. エミール・ガレ《雪中松に鴉図花瓶》1898年頃
3. ドーム兄弟《カモメに帆船文花瓶》1900年頃
4. ガレ《旭日鳥文花瓶》1919-1924年 阿部信博氏 寄贈
5. ドーム兄弟《鷺に水草文三耳花瓶》1895年
6. ルネ・ラリック 大型常夜灯《インコ》1920年
7. エミール・ガレ《笹に雀文花瓶》1898年頃
8. ルネ・ラリック 香水瓶《三羽のツバメ》1920年



ガレ、ドーム、ラリックのコレクションで知られる北澤美術館では、コロナ終息の願いをこめて、空高く飛びたつ鳥をテーマにした特別展を開催します。皇帝を表すワシやフランスの象徴オンドリは、西洋の紋章にもみられる伝統のモチーフですが、ガレとドームが脚光を浴びた19世紀末のアール・ヌーヴォー期には、開国間もない日本に対する関心の高まりから、ツバメやスズメのような身近な小鳥、あるいはガンやサギといった水辺の野鳥など、日本の浮世絵や工芸にみられる鳥たちが、異国情緒たどる洒落たモチーフとして人気を博しました。ガラスに映る優雅な翼の彼方に希望の光が輝きます。

《ひとよ茸ランプ》、《フランスの薔薇》をはじめ北澤美術館が誇るガレの傑作もあわせてお楽しみください。

関連イベント

■記念講演会

「ガラス工芸にみるジャポニズムの鳥」

講師：池田まゆみ(主席学芸員)

日時：9月18日(日) 14:00-15:00

参加費無料(要入館料)

■ワークショップ 1

「アロマ香る鳥せっけん作り」

お好きな精油を加えて鳥のモチーフのアロマ石鹸を作ります

講師：佐川尚恵氏 (Neilikka Aroma 主宰)

日時：8月6日(土)、8月27日(土)、9月24日(土)

10:30、13:00、14:30より(60分間)

受講料：1,300円税込



■ワークショップ 2

「ポーセリンアート体験」

鳥や花の絵付シールを貼りマイカップを作ります

講師：柿澤朱美氏、小平さちこ氏(アトリエAS主宰)

日時：7月23日(土)、8月20日(土)、9月10日(土)

10:30、13:00、14:30より(60分間)

受講料：3,000円税込

(焼付け後郵送のため、
要別途送料550円)



- 参加人数、4名様まで
- 予約優先、空席があれば当日受付可
- 参加費は材料費、講師料を含む(別途要入館料)
- 事前予約の方には入館料を割引いたします(大人800円、中学生400円)

スケジュールは、コロナ感染防止のため、変更または中止する場合があります。

事前にホームページまたはお電話でお確かめください。



- 交通案内 電車…JR中央線 上諏訪駅より徒歩約15分
車…中央自動車道諏訪インターより約15分
- 駐車場 バス10台・乗用車50台



北澤美術館
KITAZAWA MUSEUM OF ART

〒392-0027 長野県諏訪市湖岸通り 1-13-28
TEL.0266(58)6000



公式HPへQRコードから簡単アクセス
<https://kitazawa-museum.or.jp>

